

平成26年度函館市事業評価調書

平成26年5月作成

整理番号	補-4	事業名	函館市体育協会運営補助金		事業の性質別	裁量的経費	区分	補助金のあり方
予算事項名	大事項	補助金	中事項	函館市体育協会運営補助金		部課名	生涯学習部スポーツ振興課	
事業開始年度	昭和 44 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館市補助金等交付規則)		電話番号	21-3475	

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	<p>【目的】 函館市体育協会は、市内の各競技種目別組織を統轄する団体であり、加盟団体に対する各種事業支援やスポーツ関係者の表彰事業等を実施していることから、運営を補助することにより、本市のスポーツ振興に資するとともに、より効果的な活動を促進する。</p> <p>【必要性】 函館市体育協会は、市内41の加盟団体を統轄し、スポーツ振興事業等の活動を行っているが、会員の年会費だけでは十分な活動が難しいことから、市の補助が必要である。</p>
内容	<p>○体育協会事業 大会開催事業(競技団体別)、選手強化事業(強化合宿・練習会)、指導者研修事業(講習会・研修会)、特別支援事業(著明講師招聘による講演会)、市民スポーツ推進事業(教室開催・交流会・記録会など)</p> <p>○業務内容 補助金交付要望受理、交付申請書受理・審査、交付決定、補助金支出、実績報告書受理・審査、補助金の額の確定・精算</p>

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度予算	平成25年度決算見込	平成26年度予算	平成27年度予算要求
事業費 (A)		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	
事業を実施するために必要な人件費 <small>※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。</small>	職員	人工 0.01 80	人工 0.01 75	人工 0.01 72	人工 0.01 72	人工 0.01 73	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	80	75	72	72	73	0
総事業費計(A+B)		14,080	14,075	14,072	14,072	14,073	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大会開催・選手強化事業	件	26	21	33	
講演開催・研修事業	件	21	20	25	
市民スポーツ推進事業	件	19	19	23	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	事業実施数が成果指標の一つと考えられる
------	---------------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	補助の実施により、各種のスポーツ大会や講習会の開催、その他スポーツ関連事業の実施や、各競技団体への支援等を行っており、本市のスポーツ振興を図る上で重要な役割を果たしてきた。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	コスト・負担	コストの節減度	節減できていない
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在と変わらない
成果・有効性	成果の達成状況	達成している		受益者負担の適正度	見直しの余地あり
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	外部委託の可能性	評価対象外	
		本市における全道・全国規模の大会開催や、各競技団体の選手強化や競技力向上のほか、スポーツへの市民の関心を高めるなど、生涯スポーツの振興にも成果を得ている。	実施方法の効率性	評価対象外	補助金交付事業のため評価対象外
評価結果から明らかになった課題事項など			自主財源の確立について進捗が見えておらず、補助対象事業費および補助金額の見直しが難しいまま継続している。		

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 函館市体育協会は、青函対抗総合体育大会の実施主体であることから、体育協会運営補助金と青函対抗総合体育大会開催・派遣補助金の一本化についての可能性を検討する。
	改善	(経費について) 自主財源の確保に向けては、引き続き指導・支援を継続していく。 補助金への一本化が可能となった場合、全体としての補助対象事業費および補助金額の精査を行う。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--